

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業) [令和2年10月～令和3年9月]

資料1

令和4年1月24日

協議会名: 松川町地域公共交通対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

〔評価項目〕
 A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

〔評価項目〕
 A: 事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況		④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
		(参考) 前回の事業評価結果	(参考) ④の評価とした理由	(参考) 事業計画における 目標値	(参考) 事業計画における 目標値				
伊那バス(株)	・大島循環(午前2便) 伊那大島駅～キラヤ前 ・大島循環(午前3便)(午後便) 役場前～キラヤ前	定期利用の高齢者の減少は、コロナ禍による外出自粛の影響が主な要因と考えられる。利用促進等を図るため、令和3年7月に高齢者を対象とした移動実態調査を実施し、高齢者の移動ニーズ等を把握した。現在、運行改善案の検討を行っている。利用促進を図るため、回数券の車内販売を令和3年4月から開始した。	[地方運輸局等における二次評価結果] 目標・効果達成状況については、なぜ定期利用の高齢者が減少したのかという観点からも、目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。	A	事業は計画どおり適切に実施された。	C	4,000人目標のところ1,832人であった。コロナ禍による外出自粛、定期的に利用する高齢者の減少が主な理由と考える。継続して運転手による車内消毒等を実施し、周知として車内掲示を行っている。	4,000人	回数券の車内販売を継続して行い利用促進を図る。 「自宅からバス停までの距離が遠い」「バスの時間が合わない」等の意見を踏まえた、利便性の向上に繋がる運行改善の検討を行う。
伊那バス(株)	・上片桐循環(午前1便) 役場前～役場前 ・上片桐循環(午前2便)(午後1・2便) 役場前～キラヤ前	定期利用の高齢者の減少は、コロナ禍による外出自粛の影響が主な要因と考えられる。利用促進等を図るため、令和3年7月に高齢者を対象とした移動実態調査を実施し、高齢者の移動ニーズ等を把握した。現在、運行改善案の検討を行っている。利用促進を図るため、回数券の車内販売を令和3年4月から開始した。	[地方運輸局等における二次評価結果] 目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも、目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。	A	事業は計画どおり適切に実施された。	C	4,500人目標のところ2,861人であった。コロナ禍による外出自粛、定期的に利用する高齢者の減少が主な理由と考える。継続して運転手による車内消毒等を実施し、周知として車内掲示を行っている。	4,500人	回数券の車内販売を継続して行い利用促進を図る。 「自宅からバス停までの距離が遠い」「バスの時間が合わない」等の意見を踏まえた、利便性の向上に繋がる運行改善の検討を行う。
伊那バス(株)	・上片桐・大島通学便 役場前～伊那大島駅	全町的な子育て支援の一貫として、保護者の時間的、金銭的負担を軽減し、より多くの子供たちにコミュニティバスを利用しただけでなく、令和2年10月から小中学生の通学定期券無料化を実施した。増野会所～榎原辻間をフリー降車区間に設定し利便性の向上を図った。	[地方運輸局等における二次評価結果] 目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも、目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。	A	事業は計画どおり適切に実施された。	A	5,000人目標のところ8,976人であった。小中学生の通学定期券無料化の効果によるものとする。継続して運転手による車内消毒等を実施し、周知として車内掲示を行っている。 (参考: R元年10月～R2年9月の利用者数3,045人)	5,000人	新小学1年生、新高校1年生の保護者に対しバスの利用案内し、通学便の利用促進を図る。
丸茂自動車(有)	・生田循環峠部奈線(午前1便) 社協前～キラヤ前 ・生田循環峠部奈線(午前2便) 下峠～清流苑	利用促進等を図るため、令和3年7月に高齢者を対象とした移動実態調査を実施し、高齢者の移動ニーズ等を把握した。実証運行中のデマンドタクシー状況も踏まえながら、現在運行改善案の検討を行っている。利用が殆ど無い一部停留所の経由方法を予約制へと変更し、運行の効率化を図った。	[地方運輸局等における二次評価結果] 事業の今後の改善点については、示された改善策と目標が達成されなかった理由との関連性が不明確であることから、目標が達成されなかった理由に対応した新たな具体策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切に検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。	A	事業は計画どおり適切に実施された。	C	2,500人目標のところ1,292人であった。コロナ禍による外出自粛、定期的に利用する高齢者の減少が主な理由と考える。継続して運転手による車内消毒等を実施し、周知として車内掲示を行っている。	2,500人	回数券の車内販売を継続して行い利便性の向上を図る。 デマンドタクシー実証運行の利用実績や利用者の意見等を踏まえ、地域に合った運行方法の検討を行う。
丸茂自動車(有)	・生田循環中山柄山線(午前1便) 社協前～キラヤ前 ・生田循環中山柄山線(午前2便) 石橋～清流苑	利用促進等を図るため、令和3年7月に高齢者を対象とした移動実態調査を実施し、高齢者の移動ニーズ等を把握した。実証運行中のデマンドタクシー状況も踏まえながら、現在運行改善案の検討を行っている。利用が殆ど無い一部停留所の経由方法を予約制へと変更し、運行の効率化を図った。	[地方運輸局等における二次評価結果] 事業の今後の改善点については、示された改善策と目標が達成されなかった理由との関連性が不明確であることから、目標が達成されなかった理由に対応した新たな具体策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切に検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。	A	事業は計画どおり適切に実施された。	C	2,000人目標のところ578人であった。コロナ禍による外出自粛、定期的に利用する高齢者の減少が主な理由と考える。継続して運転手による車内消毒等を実施し、周知として車内掲示を行っている。	2,000人	回数券の車内販売を継続して行い利便性の向上を図る。 デマンドタクシー実証運行の利用実績や利用者の意見等を踏まえ、地域に合った運行方法の検討を行う。